



市民の手で市民活動を支える

特定非営利活動法人

# 宝塚NPOセンター

通信  
No.65  
2010. 12

## 「私とNPO」



特定非営利活動法人 スマイルウェイ  
理事長 西山 良孝

54歳の息子は認知症の症状がではじめた86歳の母を、仕事も辞めて献身的に介護することに専念した。しかし家賃も支払えなくなった息子は、母と心中する決心をして思い出の残る街を母親の車椅子を押しながら一晩中歩いた。夜が明け始めた頃、桂川の堤防で息子は母に心中する決心を伝えた。「そうか、あかんか。でも、一緒やで、一緒。お前はワシの子や。」母のその言葉に息子は決心し母の首を絞めたが、自身は死に切れなかった。裁判で「もう一度生まれ変わっても母の子供として生まれたい」と証言すると裁判長をはじめ多くの人が涙ぐんだ。平成18年2月1日に起こったこの事件は、NPO法人スマイルウェイが男性介護者支援活動を始めるきっかけでした。

宝塚で男性介護者の悲劇を起こさないようにしたいと思い、平成19年8月に宝塚市で初めて男性介護者会を始め、現在4ヶ所で定期的を開催していますが、時間の制約の多い介護者からは思うように参加できないという不満がありました。

### 【日本初の男性介護者の家「ほっこり庵」】

介護の辛い話、悩み、愚痴、そして喜びが言え、そんな男性介護者同志が友達になれる。そして、ほっこりして帰ってもらえ、いつでも行ける場所を作りたいと一年ほど前から思っていました。

多くの人の協力を得て、今年11月に民家を借り、日本で最初の男性介護者のための常設の集い

場「ほっこり庵」をオープンさせることができました。オープン前から新聞、ラジオ、テレビとたくさんの方のマスコミに取り上げていただきました。特に「みのもんたのサタデーずばっと」での15分の特集番組は、多くの人から「見ましたよ」と言っていただき、問い合わせや男性介護者の人の訪問が増えて1日平均2名、リピーターも来られるようになり、ありがたかったです。

スタッフを常駐させ、年中無休でオープンするのは大変ですが「365日いつでも行けるので助かります」と言われると、頑張っただけに報いはありません。

介護に疲れて、独りになりがちな男性にほっこりしてもらうにはどうしたら良いかを思案している日々ですが、一番大事なのは男性介護者の方の話したいことを如何に聞けるかだと思っています。別の言い方をすると、男性介護者の抱える問題を“解決できると思わない決心”が大切だと思っています。3年間男性介護者の支援活動を続けて来られたのも、このスタンスを貫いてきたからだと思っています。

驚いたのは「ほっこり庵」のような場所を作りたいと男性介護者が二人も来られたことでした。二人とも自宅を使い、年金生活なので特に収益は必要ないとのこと、これは日本全国に「ほっこり庵」が急速に生まれる可能性があるということです。しかし、「ほっこり庵」では家賃の支払が一番の課題となっています。日本で初めての男性介護者の家「ほっこり庵」が、もし潰れてしまうことになれば男性介護者支援活動にブレーキが掛かることとなります。ですから「ほっこり庵」を全国の男性介護者支援活動の手本になれるように、継続して育てていく覚悟です。みなさん、どうか温かく「ほっこり庵」を応援して下さい。

【連絡先は4頁をご覧ください】

今年も1年が終わろうとしています。昨年大病をしたことで随分、関係者のみなさんや会員の方々にもそして理事やスタッフにも迷惑をおかけし、心苦しく思います。以前のように24時間戦士のように働けませんが、ぼちぼち私がしなければならぬ仕事だけしながら、後継者を育てることに力を尽くしているつもりです。

でもいいこといっぱいありました。私が今までのようにできないために、新しい事務局長やスタッフが一致団結、仲良く力を合わせ日常業務を支障なくこなし、彼ら一人一人のスキルが随分上がりました。

今回は今後のセンターの方針をはっきりさせるために私のしてきたことや、これからのことを書いておこうと思います。

平成10年にセンターを設立し、翌年9月NPO法人として出発。あれから、ただ必死にひたすら中間支援組織として手探りで走ってきた13年を振り返り、後半の10年の見通しを皆で考えたいと思います。

やはり10年単位で物事を見ないと推移は見えないものです。10年の積み重ねとも言えます。

宝塚NPOセンターが中間支援組織として生まれたきっかけは、あの16年前の阪神・淡路大震災です。全国からボランティアが5万人にも助けに来てくれましたが、組織化しないと大勢のボランティアを動かせないことも知りました。また、個人でばらばらにいられているボランティアを組織化して動かせるリーダーの不足も課題でした。

それでも当時私は宝塚市ボランティア活動センターの所長代理をしていたこともあり、市役所内にボランティア本部を移動し、市の職員と連携・連動しながら市と市民、そして他府県のボランティアと震災復興に当たりました。

これが今でいう新しい公共と言われる協働の始まりでした。企業も学校も公的施設もが力を合わせないとまちを救えないという体験は、今思えば

辛い悲しい体験でしたが、市民を強くしました。

震災から3年後に宝塚NPOセンターを生み出すことができたのは、宝塚市や社会福祉協議会、ボランティア団体連絡協議会、商工会議所や農協やコープこうべ、各種団体の皆さんの思いが一つに実ったからでした。おかげで多くの会員と寄付が集まり、阪神・淡路コミュニティ基金からの助成金もいただき、約1300万円で出発できたことは幸いでした。

NPO法人は資本金（そういう概念はないのですが）なしで設立することができるため、皆さんがゼロ円で設立されることも少なくありません。しかしボランティア組織との違いは最初どれだけの資金を集めたかによります。その他場所の確保と良い人材は必須です。本気でやるには準備と支援者が必要なのです。さらにスタッフを雇い事業を興し、継続するには安定した収益を得る経営をしていかなければいけません。

中間支援組織は今後日本のNPOを大きく変える力になるという施策と展望により、宝塚市からの補助金や委託事業、兵庫県から「生きがいごとサポートセンター事業」を受託するという幸運に恵まれ、今日までやってきました。

もし行政と協働してこの事業をしてこなかったら、センターの今はなかったと思います。委託だからと言って言われるがままに、仕事を行うのではなく、毎年新しい提案と新規事業を行い、どうすればNPO法人などがコミュニティビジネスとしてまちに役だつために起業とし、継続していけるのか工夫とアイデアを実施してきました。

おかげでたくさんのNPO法人が生まれ継続されています。まだまだ足りないところがありますが、行政と話し合いながら整備していくつもりです。宝塚で生まれ、結婚もし子育てもし、病気になっても最後まで暮らしたい。暮らしやすいまちは行政だけではできません。市民も行政も共に変わる時期がいよいよ来たのです。 森 綾子

\*\*\*\*\*シンポジウム／会議のご案内\*\*\*\*\*

I. 阪神・淡路大震災 1.17 追悼・防災・啓発行事 『宝塚・語りつく震災』

1) シンポジウム

- 日 時：1月13日(木) 13時～15時30分 ●場 所：アピアホール ●対象者：一般市民
- コーラス： アンサンブル・クリスタル (阪急逆瀬川駅 アピア1-5階)
- 基調講演 テーマ：「震災の体験を語りつく」  
講 師：室崎 益輝(関西学院大学総合政策学部教授)
- パネルディスカッション テーマ：「語り継ぐ震災～絆から生まれたもの～」  
パネリスト：黒田 裕子(しみん基金・こうべ理事長) 喜入 勝弘(旭町2・3丁目 自治会 会長)  
大野 良平(現代美術家) 松藤 聖一(元宝塚市職員)

2) 追悼キャンドル・記帳

- 日 時：1月17日(月) 5時30分～6時 キャンドル点灯 5時30分 黙祷 5時46分
- 場 所：末広中央公園 ● 対象者：一般市民

II. 宝塚NPOネットワーク会議

- ◆日 時：2月5日(土) 10時～12時 ◆場 所：宝塚市立男女共同参画センター
- ◆内 容：宝塚市内福祉系NPO法人による取組紹介 3法人/NPO法人ネットワーク、交流会
- ◆対象者：宝塚市内NPO法人、NPO法人申請中の団体、市内で助け合い活動を実施している自治会、まちづくり協議会

地域づくり活動担い手育成事業

きらっと☆北摂フェスティバル ふれあいの祭典 「ふれあい塾」 出展報告

晴天にも恵まれたすばらしい秋晴れの10月16、17日に「ふれあいの祭典」が、三田市の県立有馬富士公園にて、両日約73,000人の来場者による賑わいのなか開催されました。今回はじめてこの事業にNPOが参加し、テーマ①では「NPOの理解促進」を宝塚NPOセンターが指南役となり、宝塚市内のNPO法人関西アロマセラピスト・フォーラムをはじめとした多彩な10NPO法人が「ふれあい塾」の出展ブースを、広々とした芝生の上で家族連れ等の来場者を前にして、それぞれの活動を積極的にアピールしました。またテーマ②では「災害への備え」を特・日本災害救援ボランティアネットワークが指南役となり、連日20数名の学生ボランティアと共に防災ポイントラリーを実施して、子ども達にもわかりやすく防災知識を伝えました。



宝塚+阪神北エリアのNPO法人

	10年3月	10年11月
全国	39734	
兵庫県	1496	1569
尼崎市	84	88
西宮市	115	121
芦屋市	41	41
伊丹市	38	39
宝塚市	75	77
川西市	29	33
三田市	33	33
猪名川町	7	7

兵庫県阪神北県民局委託事業

阪神北ひょうごアドプト☆チャリティ・フェスタ報告

11月6日(土) 武庫川河川敷にて『阪神北ひょうごアドプト☆チャリティ・フェスタ』を開催いたしました。このフェスタは、「自分たちの活動資金は自分たちの手で！」を目的にした阪神北県民局管内のアドプト団体の有志等による実行委員会、社団法人食品容器環境美化協会と社団法人兵庫県宅地建物取引業協会のご協力いただき開催されました。

会場では「ひょうごアドプト」の啓発活動と共に地元自治会(花のみち、美座)にカレーライスや豚汁の炊き出しで応援をしていただきました。またNPO法人による野菜やコーヒーやお菓子の販売では多くの方に、お買い物を楽しんでいただきました。ステージではバンド演奏や「わっしょい宝小」の子どもよさこい、花のみち自治会シニアクラブによる演奏が行われステージも観客も一緒に盛り上がりました。

☆「ひょうごアドプト」とは、河川や道路など公共のエリアを、地域の皆さんが自分の子どものように、受け入れてお世話いただく制度です。



## 「NPO・コミュニティビジネスの日」相談日のご案内

「NPO・コミュニティビジネスって何だろう?」「ちょっと興味がある!」「ぜひ学んでみたい!」「ぜひ立ち上げてみたい!」そうお考えのみなさんに、宝塚 NPO センターのスタッフが、NPO の現場の声などもお伝えしながら、さまざまな相談に応じます。お申込みは前日までにお願いします。TEL:0797-85-7766  
今年度の相談日は以下の通りです。是非、お気軽にご利用下さい。

2011年●1月15日(土) ●2月15日(火) ●3月15日(火)

## 「NPO ってなあに?」

NPO に関する疑問についてお答えします。これから NPO を立ち上げる方や NPO 活動をしていて疑問に思ったことなど、NPO に興味のあることなら度なたでもご参加ください!!

●日時:1月22日(土)13:00~14:30 ●場所:特・宝塚 NPO センター ●参加費:無料

### FM 宝塚 今後の放送

宝塚市内の NPO 法人の活動を FM 宝塚で情報発信しています。NPO 法人が NPO 活動への熱い思いを語ります。

- 1月16日特・セシリア/訪問介護、助け合い事業
- 1月30日特・水道施設整備技術協議会/東南アジア等の飲料水の殺菌による国際協力
- 2月20日特・絆.jp/移送サービスと宅老所運営
- 3月20日特・こむの事務所/障害者の雇用促進

83.5MHz FM 宝塚  
『話してみれば』  
17:25~17:50

### ほっこり庵お問合わせ

〒665-0836  
兵庫県宝塚市清荒神  
1丁目5-15  
NPO法人スマイルウェイ内  
ほっこり庵  
年中無休:10時~17時  
電話&FAX0797-26-7818  
メール:info@smileway.jp

## 会員募集・継続のお願い

あなたの志が社会を変える活動を支えています。NPO・NGO の先駆的で創造的な活動は、変革の担い手としての新しい市民社会の実現に貢献しています。志と情熱をもって社会の課題に挑戦する人を支援しています。皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員として NPO・NGO を支える活動に参加してください。

[正会員]個人会員 10,000円/団体会員(NPO・市民活動団体)10,000円/法人会員30,000円/[準会員]3,000円  
銀行振込:三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金3629422口座名義 特・宝塚NPOセンター  
郵便振替:口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚 NPO センター 郵便振替用紙をご利用下さい

**ご支援ありがとうございます** (順不同、敬称略 2010.12.20 現在)

新たに入会された皆さん【団体会員】三田を知る会 特・セシリア 特・富貴国際交流協会  
【準会員】長畑美智子 寄付をいただいた皆さん 特・小さな星 鷲尾節子 大野保子 鶴丸悌二

障害者の小規模作業所に携わる若いスタッフと食事会の機会があり「何でこの仕事に就いたのか」と何気なく尋ねたら、同じテーブルにいた6人がそれぞれ、はにかみながらも語ってくれた。みんな中高生の頃から、福祉の仕事に就くことを考えていたと言う。近い未来に「NPOで働きたい」と職業の選択肢に入れる若い世代が現れるように願いつつ、今の自身にも背中に重いものを感じる。皆様良いお年を!!(Y.O)

### 特・宝塚 NPO センター

〒665-0845  
宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F  
Tel 0797-85-7766  
Fax 専用 0797-85-7799  
利用時間 9:00~18:00  
休館日 日月・祝日・年末年始  
Email zukanpo@hnpo.net  
URL http://voluntary.jp/zukanpo/

### 生きがいしごとサポートセンター阪神北 阪神北 NPO ハウス

Tel 0797-87-4350  
Fax 専用 0797-87-4351  
Email cdc@hnpo.net  
URL http://voluntary.jp/hnpo-net/

〒665-0021  
宝塚市中州 1-7-20  
ハイツ村上101号  
阪急逆瀬川駅から南口  
方面へ徒歩8分